

2022年度教育ネットワーク中国第4回研修会（大学中退予防）開催報告
「2022-2023年度第2回中国・四国地区研究会」共催

1. テーマ 「大学中退予防の実際」
講師 大正大学 特命教授 山本 繁 先生
2. 日時 2022年11月26日（土） 13:30～15:30（受付開始13:00～）
3. 会場 Zoomによるオンライン開催
4. 対象者 教育ネットワーク中国会員校の教職員およびJUAM会員

〈概要〉

大学中退予防は、Prevention（予防策）とIntervention（対症療法策）の組み合わせによって、効果を発揮します。前者を設計するためには、中退の種類やよく起きている中退要因の種類やその発生時期を把握することが肝要です。後者には、早期発見と介入の仕組み作りが欠かせません。また、それらの実装・実行には教員と職員の協働が求められますので、教職協働のデザインも重要になります。

5. 内 容

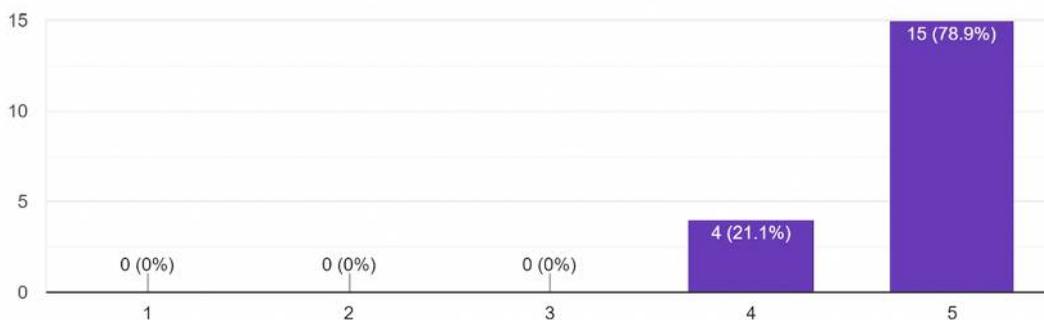
- 13:30～13:35 開会挨拶（教育ネットワーク中国代表理事・長坂 康史）
13:35～15:05 講師による講演
15:05～15:25 質疑応答
15:25～15:30 まとめ（教育ネットワーク中国研修部会長・小澤孝一郎）

6. 参加者について

43人参加（申込者数59人）※講師含む
広島経済大学8人、広島工業大学2人、広島国際大学1人、広島修道大学2人、
広島女学院大学3人、広島大学1人、広島文化学園大学7人、広島文教大学2人
安田女子大学1人、福山大学1人、事務局2人、行政管理学会会員ほか13人、

7. アンケートについて

問1 このたびの研修会（研究会）の満足度を教えてください。（19件回答）



問2 満足度の理由を教えてください。

- ・多くの指導事例と学生の反応をみることでリアルに想像できた
- ・退学防止対策に繋がる例を具体的に挙げてご紹介いただいた点。
- ・自己紹介の部分など参考になりました。1年生の入学時など、実践してみてよいなと思っています。
- ・テーマと内容が一致しており、その内容も豊富であった
- ・大変わかりやすかった
- ・具体的な方策までたくさん教えてくださり、大変勉強になりました。
- ・中退防止施策だけでなくその背景を知ることができ、また、学生の生の声をたくさん聞くことができたためとてもイメージしやすかった。
- ・現在、担当している部署には直接的には関係ないが、大学全体の問題について、現状と課題、対策方法を知ることができて、大変勉強になり、今後に生かしていきたいと思いました。
- ・自身の授業で試してみたいアイデアが豊富だったから。
- ・川上対策の重要性がよく理解できました。教員は、学生が入学後、何でもないことを聞くことができる人を作れるようにすることが大切という点について、本当にそう思います。
- ・大学入学前の学生の情報が中退危険因子として活用できるとは想像をしたことがありませんでした。よくよく考えると、確かにその傾向が見受けられます。大変勉強になりました。
- ・中退に係る原因、傾向、対策について、大正大学での事例を含めて、大変わかりやすい説明をいただきました。
- ・本学で課題となっていることについて知ることができた。
- ・中退予防のための取り組みについてとても参考になった。

問3 参加の動機を教えてください。

- ・本学でも中途退学の学生がいるため
- ・大学からお知らせのメールが流れてきた。
- ・JUAM 共催。
- ・学籍を担当しているので、今回のテーマに興味がありました。
- ・テーマに興味があったから。
- ・本学でも中退学の取り組みをしていますが、本当にそれが効果的なのかと感じていました。また教職員によって意識の差があったり、対応に差が出ていたりを感じていました。学生支援の教職員を中心に今回の話を共有したいと思います。ありがとうございました。
- ・休学や退学が増えている中で、どのような対策を実際に行われているのか興味があり参加しました。
- ・中退予防に興味があったから
- ・中途退学対策に苦慮しているため
- ・コロナ禍になってからの学生のコミュニケーションやモチベーションを心配して。
- ・現在、総務部にて学費に関する業務に携わっており、学費面での相談（学費納入の延納受付や高等教育の修学支援新制度の対応等）から退学防止へ繋げられるよう検討しているので、中退防止施策やその背景に関心があったから。
- ・他大学の先生のお話を聞く機会がないので、経験と視野を広げるために申し込みさせていただきました。
- ・勤務校の紹介
- ・学生の中途退学の予防を含め、現大学生への対応の参考にしたいと参加しました。
- ・休退学対応業務に関わっており、少しでも何かの知識・情報を得たいと思い、参加申し込みをいたしました。
- ・テーマに関係する業務を担当しているため。(教務課)
- ・我が大学の谷ノ内広報課長が大正大学客員教授を務めており、大正大学の専務理事が進めている対応にも注目しているため。
- ・テーマに大変興味があった。

- ・中退予防のための特に初年次の取り組みの重要性は理解していたが、実践できていない現状があるため。

問4 今後、どのようなテーマの研修会（研究会）があれば参加してみたいですか

- ・基礎学力不足の学生へのリメディアル教育の在り方
- ・山本先生の後半の内容
- ・教学マネジメントもしくは大学設置基準の改正への対応
- ・学生の間関係での悩み（学業やキャリアに影響が出るようなケース）：事例や介入の在り方について
- ・新人・若手向け研修会 研究推進、研究支援等の研修会
- ・①本日ご講演いただいた山本先生の続きのお話をぜひお聞きしたいです。
- ・本日の続きについてお聞きしたい
- ・大学設置基準の変更に対する対応について
- ・特にありません。有り難うございました。
- ・今回残りの内容について、次年度ぜひ実施してほしい
- ・大変勉強になりました。さっそく教育に、やれるところから実践していきたいと思います。
- ・ありがとうございました。
- ・研修会自体とてもスムーズで特に意見はありません。
- ・学内の業務に追われているため、全国的な高等教育のトレンドを把握しにくい状況にあります。ですので、今回のような研修会が開催されることを目にしながら、様々な他学の状況などを把握させてもらうことが出来ています。企画・運営をしていただき、本当にありがとうございます。
- ・このたびは大変お世話になりました。ほぼ問題なく視聴することができました。ありがとうございました。
- ・今回の企画運営の皆さんに感謝です。準備対応、大変ご苦労様でした。最後のまとめ発表の広島大学薬学部の小澤先生から発言のとおり、次回。本日時間切れで聴けなかった後半部分、キャリアの話は是非とも聴く機会を設けて欲しいです。
- ・“中国・四国地区研究会に参加させていただくことができ良かったですと思います。
- ・今後も機会があれば、参加させていただきたいと思います。”
- ・可能であれば、平日に実施していただけると助かります。もしくは、後日、動画配信することを事前に教えていただけると助かります。